

## 《肥料の施肥例》

土壌pHは6.5以上とし、肥料、堆肥、石灰等をたっぷり施しましょう。生育後半に苦土石灰を施すと品質アップに♪

**◎元肥** (1㎡当たり全層施肥)

**おいしい菜園** → 80g

他に…トヨクィーン(石灰) → 130g

吟遊詩人(バーク堆肥) → 2kg

PKマグ32 → 20g …等

※品種によっては元肥を抑える場合もあり

**◎追肥** (1㎡当たりの1回の量)

**おいしい菜園** → 60g

※1回目の追肥は雪解け後すぐ。2回目は5月始め頃とする。玉ねぎはチッソやカリが不足するととう立ちしやすいので注意。

※定植約2週間後に活着促進として株元に少し追肥してやるとなお良い。



### この肥料の特徴

粟のような形状で水に溶いて液肥にもでき、土を荒らさない安心で安全な中性化成肥料。速効性だが元肥・追肥両方に使用できる。

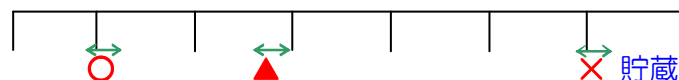
## 玉ねぎ

### ▶ 特徴と栽培のポイント

玉ねぎには生で食べると血液をサラサラにし(注：水にさらさない事)、加熱すると中性脂肪やコレステロールを抑制する働きがあります。煮ると甘く、生ではピリリと辛味が引き立ち、あらゆる料理で重宝されています。代表的な産地は北海道で、冷涼な気候を好みます。

### ▶ 栽培カレンダー ○播種 ▲定植 ×収穫

8 9 10 11 ~ 5 6 7 8



北海道では春まきだが秋田では秋まきが主である。涼しくなる8月末に播種し、良い苗(右記参照)を選んで定植する。植え溝深は2cm、株間10~15cm、条間20cm前後とし、密植栽培で硬く締まった玉に仕上げる。土壌水分量(70%前後が最適)でも太り方に差が出るので水管理にも十分注意! また雑草に負けやすい為こまめに除草し梅雨前にはサビ病防除も必ず行う事。

晴天が続き、葉が8割方倒れた時に収穫。腐らないよう陰干し、吊るし貯蔵を行う。

## 《人気の品種》

### ●パワー

2月まで長期保存が可能な中晩生種。色艶や首のしまりも良く、一球約290gの中玉となる。

育苗日数は約55日。若苗で定植する。



### ●猩々赤(生食用)

一球約320gの扁平型の大玉。8月末まで貯蔵可能。元肥は控えめにし、遅い追肥を避ける。育苗条件はパワーと同じ。



## ☆良い苗の見分け方☆

良い玉ねぎを作るには、良い苗を植える事が最大の近道! 下の図は大苗の状態ですが、左端が最も理想的な苗、右端が生育中にととう立ちしやすい苗なので中苗・小苗で植える場合も慎重に選定して下さい。

